



今年度の健康診断の計画は立てましたか？今年度に 40 歳を迎える方は胃がんと大腸がんの検診も忘れずに予約しましょう。今回は日本人に最も多い大腸がんについてお話しします。

## がんの中で最も多い大腸がん

男性の 10 人に 1 人、女性の 12 人に 1 人

大腸がんは大腸に発生するがんで、近年動物性脂肪の取りすぎや食物繊維不足などが影響し増えています。がんの中で罹患数が最も多く、男性の 10 人に 1 人、女性の 12 人に 1 人が一生のうちに大腸がんを診断されています。

大腸がん罹患数の推移



## 40 歳代から増える大腸がん

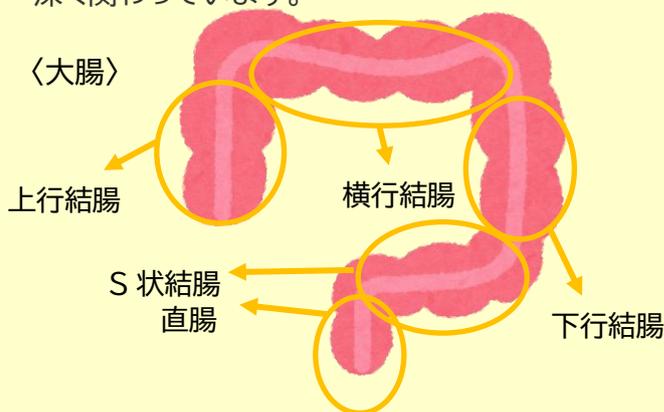
ポリープからがんになるものもあります

大腸の粘膜に発生するがんで、良性の大腸ポリープが大きくなる過程でがん化するものと、正常な粘膜からがんが発生するものとあります。早期には症状がなく、進行すると腹痛や出血、便秘や下痢などの便通異常、便が細くなるなどの症状が出ます。年代別では 40 歳代から増え、50 歳代で急増します。高齢になるほど発生頻度は高くなります。

## 大腸のはたらきは？

大腸は右下腹部から時計回りに 1.5~2m もの長さがある管状の臓器で、小腸から移送された液状の便から水やナトリウムを吸収して固形の便にし、肛門に運びます。大腸には大腸菌や乳酸菌など 100 種類以上の細菌が存在し、免疫システムにも深く関わっています。

〈大腸〉



※大腸がんは肛門に近い S 状結腸と直腸の発生が約 7 割と多くなっています。

## 大腸がん検診は便を提出するだけ！

大腸がん検診は便に血液が混じっていないかを調べ、精密検査が必要かどうか判定します。大腸がんやポリープがあると腸内を便が移動する時に便に血液が付着します。出血は毎日出るとは限らないので、2日間にわたり便を採取した方が発見する確率が高くなります。

## 陽性(要精密検査)と判定されたら？

大腸がんは早期発見・早期治療で 95% 以上の方が治ります。陽性の判定があれば早めに消化器科のある病院に予約して精密検査を受けましょう。なお、痔がある場合も痔で必ずしも陽性になるわけではないため、必ず精密検査を受けましょう。

大腸がん検診はほとんどの健診機関で受けることができます。健診予約時に「大腸がん検診も受りたい」と相談してください。建設国保では 40 歳になる年度から毎年度無料で受けられます。ご自宅に届く建設国保のしおりや建設国保のホームページで健診の受け方をチェックしてください！

建設国保のホームページで健診の受け方をチェック！

